

2018年10月25日

【TOPICS】「EV化とESG要素の関係、EV化による自動車メーカー・部品メーカー・タイヤメーカーへの影響と課題」の公表について（要旨）

株式会社日本格付研究所(JCR)では、このたび、トピックス・レポート「EV化とESG要素の関係、EV化による自動車メーカー・部品メーカー・タイヤメーカーへの影響と課題」を発表しました。本稿では、自動車業界を担当するチーフ・アナリストが、EV化におけるESG要素の考慮の仕方のほか、EV化が自動車メーカー・部品メーカー・タイヤメーカーそれぞれの収益性などに与える影響、EV化をめぐるアライアンスの行方やネガティブな影響など多面的な観点から分析を加えています。

ー(以下、本文より一部抜粋)ー

「自動車業界ではCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)に表される次世代技術の開発やサービスが本格化しており、大きな変革期を迎えている。本稿では電動車と呼ばれるHV(ハイブリッド車)、PHV(プラグインハイブリッド車)、EV(電気自動車)、FCV(燃料電池車)の中でも特にEVを取り上げる。EV化とESG要素の関係、EV化による自動車メーカー・部品メーカー・タイヤメーカーへの影響と課題について、格付上、注目している点に触れていく。-中略-

今後のEV化のスピードは明確に見通せる状況ではなく、また、EV化以外にもCASEに表されるような様々な要素がある。JCRでは、自動車業界各社が様々な事業環境の変化に柔軟に対応できる準備をし、安定したキャッシュフロー創出力を維持できることが重要であると考えている。」

本トピックス・レポートの全文は、会員向け有料Webサービス「RatingEye」の「格付関連レポート」でご覧いただけます。(URL: https://www.jcr.co.jp/related_report/)

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル